

集落営農組織の経営体質強化に向けて ～リーダー間の連携強化～

湖東地域振興局農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

担い手の経営体質強化が喫緊の課題となる中、当管内では12の集落営農型法人、39の特定農業団体があります。ただ、最近立ち上げられた組織が多く、今後の法人化に向けて組織の熟度を高めていくことが求められています。このような状況の中、昨年末からリーダーが一同に会し、組織の育成強化を目的に定期的に情報交換の場を持ち、直面する課題や今後の方策を事例研究をもとに情報交換しながら、集落間のネットワーク化をすすめてきました。

情報交換会の開催内容

5月：水稲作業の省力化に向けて（直播） 経営の多角化（園芸品目）

7月：土地利用調整機能の強化、経営の多角化（加工）

11月：組織の経営管理手法、転作作物（大豆）の安定生産

【普及活動の成果】

組織強化を進めるための経営改善指導手法の具体化と関係者の意識向上

- ・水稲協業化を進めるための組織の下地づくりの強化
人材発掘と若手（40代後半～60代前半）の積極的登用、本職で培った能力を活かした組織づくり、集落内での会計担当者の育成、農地管理・労務管理等をパソコンで集計・分析できる仕組み作り
- ・法人化を目指した経営機能の強化
経費の削減（特に、機械関連経費、労務費） 収益確保策の検討
集落リーダー間の意見交換の場の強化により課題の共有化とリーダーの連帯感の醸成
- ・課題の共有化と集落相互間の連帯意識、集落内でのリーダーへの負担
- ・改善課題の明確化
- ・改善方策の検討 例）コスト削減：機械（転作、直播との特殊なもの）の相互融通
集落間の連携による経営課題の改善方策の具体化
- ・集落内で解決できない問題を明確化し、その改善に向けて関係機関と連携して改善方策を検討し、実施に向けて取り組める仕組みづくり
- ・次年度以降重点的に取り組み予定
例）施設・機械の相互利用、資材の共同購入、米の有利販売体制他

